

ウェブサイト番組：「家族って何？」を見て

今週のウェブサイト番組：「青春リアル(HP「雑学BN」のマスコミ等コメント関係(V)、2009.10.06.「『自分と未来は変えられる』を信じて!」:参照)」のテーマは、「家族って何？」であった。

メンバーの一人の「世の中は『家族だから』の一言で許しあったり助けあったりしていますが、自分にはその感覚がわかりません。」というような、それぞれの家族関係(主に親との関係)への戸惑い、想いのメンバーの若者たちの「家族って何？」のテーマへのカキコの交流・紹介の内容であった。

親子関係に戸惑い悩む学生や親からメールをもらうことも度々あり、家族(親子)関係って距離が近いだけに実際には難しい側面が多いと思うが、あまり難しく考えずに持論のコミュニケーション論(「生きていく→人間関係→コミュニケーション」)からヒントを返信するように心懸けてはいる。

人間は社会生活を営む動物。

家族とは、その社会という人間関係の究極単位の集団とも云える。

つまり、家族という共有体験の多い生活をしていると、ついつい「家族は、云わなくても分かり合える」と思いがちだが、家族といえど究極的には人と人との「人間関係→コミュニケーションの問題」ということになる。

コミュニケーションは互いの背景が異なることから、家族といえどコミュニケーションの側面からはすれ違い、誤解が生じることはあり得ること。

だからこそ、お互いにまず想いを発信し合うことが大事な気がする。

HP記事等で発信している「生きるとは、係わり合い、互いに助け合いながら、共に生きるとはどういうことかを求め続けること。」には、ゴールもなければマニュアルもないと思うだけに、戸惑い、迷い、悩みながらも、人生とはそのプロセスそのものと思っている。

そうは云っても、親としては我が子という意識より、精神的にも経済的にも一人の社会性ある人間としてどう親元から巣立たさせるかという、社会的立場としての親の機能意識を持ちつつ我が子とどう係わり合い続けるかという前提となる意識も必要な気がする。

また、子からすれば親は「側に居ると煩いが、離れると会いたくなる存在」、それが親子関係の真髄ということかも……。